

# 神奈川県と共同出展『テクニカルショウヨコハマ2023』

～令和4年度かながわ再エネ共同オークション説明会を現地で共同開催～

株式会社エナーバンク（共同創業者 代表取締役：村中 健一、本社:東京都中央区）は、2月1日（水）～3日（金）の3日間、パシフィコ横浜で首都圏最大級の工業技術・製品総合見本市「テクニカルショウヨコハマ2023」へ神奈川県と共同出展します。主催者特別展示コーナーにて、DX・カーボンニュートラルへの取り組みについてご紹介しております。また、展示コーナーでは「かながわ再エネ共同オークション」説明会を神奈川県と連携して開催しておりますので、ぜひお越しください。



## ・開催概要

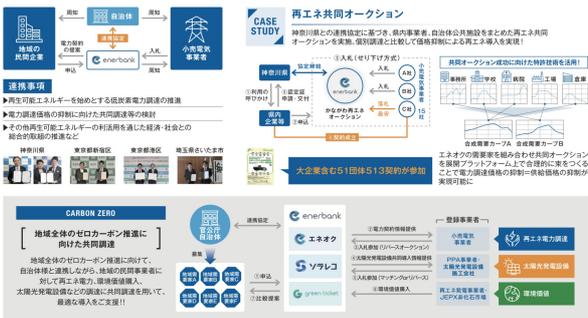
- (1)会期：2月1日（水）～2月3日（金）の3日間、各日10:00～17:00
- (2)会場：パシフィコ横浜 展示ホールA・B・C（横浜市西区みなとみらい1-1-1）
- (3)出展分野：主催者特別展示コーナー
- (4)出展数：759社・団体、出展小間数573小間（上記のうち27社・団体はWebサイト内展示のみの出展）
- (5)入場料：無料
- (6)主催：公益財団法人神奈川産業振興センター、一般社団法人横浜市工業会連合会、神奈川県、横浜市（順不同）

## 《展示内容》

- ・電力リバースオークション「エネオク」共同オークション
- ・首都圏再エネ共同購入プロジェクト※2月1日スタート
- ・環境価値取引プラットフォーム「グリーンチケット」
- ・太陽光導入支援サービス「ソラレコ」

## 自治体と連携し、ゼロカーボンシティ実現に向けた 地域の民間事業者の再エネ調達支援ツールとしても採用拡大

ゼロカーボンシティの実現を目指す自治体と連携協定を締結し、再生可能エネルギーを選択できる機会の創出、調達コストの低減化や電力切り替え手続きのシステム化・簡素化を支援



**首都圏再エネ共同購入プロジェクト**  
地域の事業者と一緒に再エネ電力導入でコスト抑制しながら環境経営

**環境経営PR 電力高騰対応 安価な調達 電力調達事務をDX**

**首都圏再エネ共同購入プロジェクトとは**  
再エネ電力導入に非化石電源による再エネ化の道

**再エネ共同購入の事例**  
2022年11~12月開催 神奈川県再エネ共同購入事業  
再エネ比率 3.6%  
再エネ比率 1.1%  
再エネ比率 62%

**環境価値取引**  
**電力調達と切り離して環境価値を最適に調達!!**  
グリーン電力証書、非化石証書を用いて、お客様のニーズに合わせた形で環境価値をご提供し、CDP-RE100-SBTの達成を支援します。

**SYSTEM green ticketのシステム**

**サービス特徴の特徴**  
環境価値のみ提供可能！  
任意の期間で購入OK!  
1%比定で調達可能！

**実質再エネ電気を最適調達**  
電力と環境価値を切り離して調達することで、実質再エネ電力を最適に提供！

**グリーン電力証書認定例**  
大型製造業 自家消費型太陽光発電所  
発電容量: 400kW  
認定年間発電量: 887,500kWh  
エリア: 大田区

**自家消費型太陽光発電設備導入支援サービス**  
~太陽光をもっと効率よく経済的に~  
需要家様の設置目的・条件に応じて対応可能な事業者複数社より提案を受領、比較したものをご提示し、満足支援するサービス。 設置方法も自己負担設置、第3者所有モデル(PPA)から選択可能です。

**SYSTEM ソラレコシステム**

**導入支援サービスの背景**  
PPA事業を支援する事業者を提供するサービスが普及してきていることから、需要家は多くの情報を収集しながら、事業者を選定する必要がありますが、多大な労力を要する状況。  
設備施工会社等の事業者が一律とは異なる、詳細な条件を合わせたサービスで、事業者の選定を支援し、技術的評価の発見が必要。

**蓄電池の導入効果診断サポート**  
電力データの分析から蓄電池の導入効果診断。蓄電池の導入効果診断ツール「蓄電池効果診断ツール」により、蓄電池の導入効果診断が可能。蓄電池の導入効果診断ツール「蓄電池効果診断ツール」により、蓄電池の導入効果診断が可能。

## 令和4年度 かながわ再エネ共同オークションの開催

2月1日から募集開始（オンライン説明会を開催します）  
神奈川県のHPリンク  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f7600/saieneauction-joint.html>

## 再エネ共同購入プロジェクトの実績

神奈川県と当社の連携プロジェクト「かながわ再エネ共同オークション」を昨年度に続き、今年度（2022年11月~12月※募集は8月開始）も実施しました。  
電力高騰以降、電力調達の難易度は高まり、最終保障供給契約へ移行する需要家も多くなっていますが、こうした状況下において再エネ共同購入の取組の結果、以下の効果を達成しています。



※1：東京電力が2022年9月20日に発表した2023年4月から供給開始の新標準メニュー（+環境価値）との料金比較  
※2：個別需要家毎で契約する場合の見積り、共同購入することでさらに1.1%削減を獲得  
※3：再エネ比率30%、50%、100%から選択いただいた結果から算定した平均割合

## ● 今後の展開

再エネ電力は、通常の電力より再生可能エネルギー由来の電力の比率が向上する分、通常の電力よりコストアップする傾向にありますが、他社の入札価格を見ながら再入札可能な電力リバースオークション「エネオク」を活用することで、事業者は再エネ電力の調達をより適正価格で実現することが可能となります。

また、電力市場高騰後、需要家の電力調達の難易度が高まっており、市場連動や独自燃料調整費など電気料金体系も複雑性を増しているなかで、当社のデジタルソリューションを活用して円滑な電力調達を支援していきます。

今後は、本プロジェクトに参加していただく自治体を増やししながら、自治体と連携して「エネオク」または「グリーンチケット」を活用した再エネ電力調達の促進を図るとともに、コストを抑制した再エネ電力の導入支援を行います。

当社は、デジタルソリューションを活用することによる効率的・効果的なグリーン化を推進し、ゼロカーボンシティ実現に向けた地方自治体の率先した取組を支援してまいります。

◎自治体様向けゼロカーボンシティ実現支援サービスサイト

<https://www.enerbank.co.jp/zero-carbon-city>

■本件に関するお問合せは下記窓口からご連絡ください。

- ・ 地方自治体関係者様 <https://form.run/@RE-guide1>
- ・ 小売電気事業者様 <https://form.run/@RE-guide2>
- ・ 再エネ電力導入をご検討の民間事業者様 <https://form.run/@RE-guide3>

## ■会社概要

株式会社エナーバンク

共同創業者代表取締役：村中 健一

共同創業者取締役COO：佐藤 丞吾

共同創業者取締役CTO：関根 大輔

所在地：103-0027 東京都中央区日本橋2丁目1-17丹生ビル 2階

設立：2018年7月

事業内容：電力オークション「エネオク」の開発、運営

環境価値プラットフォーム「グリーンチケット」の企画、販売

太陽光発電設備導入支援事業「ソラレコ」の企画、販売

グリーン電力証書発行事業者 事業者コードA65

非化石価値取引会員番号 Q96

電話：03-6868-8463

URL：<https://www.enerbank.co.jp/>

---

株式会社エナーバンクのプレスリリース一覧

[https://prtmes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/38798](https://prtmes.jp/main/html/searchrlp/company_id/38798)

---

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社エナーバンク

担当：柳沼

住所：103-0027 東京都中央区日本橋2丁目1-17丹生ビル 2階

電話：03-6868-8463

Mail：[info@enerbank.jp](mailto:info@enerbank.jp)

ホームページ：<https://www.enerbank.co.jp/>